

# プラスアルファ

Re START～自分たちの手で歴史を変えろ～

2024年 6月24日発行 No.408



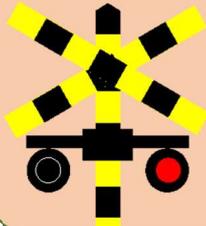
常任委員 芝 翔太  
高知運転所

今回の作成担当

JR四国労組  
LINE公式アカウント



友達募集中



## 踏切ちゃんと渡ってね！ 鉄道版交通安全教室を開催！



2024年6月10日（月）、高知県高知市の「丑之助学園」にて『鉄道版交通安全教室』を開催しました。丑之助学園での開催は第8回（平成20年）から16年ぶり、2回目の開催となり全体では23回目の開催となります。今回は、高知支部青年女性会議のメンバーを中心に10名が参加し、園児と職員合わせて約140名の前で、【踏切の正しい渡り方】や【列車は急には止まらない】などを伝えました。

この活動は、青年女性組合員が業務中に遭遇した、子供が線路内に立ち入ったことによる痛ましい事故やヒヤリハットの経験を教訓に「子供が列車にはねられた事故」ではなく、「自分たちの仲間が、跳ねざるを得なかった事故」として捉え、このような痛ましい事故が今後二度と起こらないように、ボランティア活動の一環として青年女性会議が主体となり企画・開催をしています。



## 丑之助学園にて2回目の開催！！



高知県では  
6年ぶり！！

園児に分かりやすく・楽しく伝えるため、高知支部青女の役員が保育園児になりきって「線路のそばでは遊ばないの巻」「踏切は正しく渡ろう！の巻」の2部構成で劇を行い、線路や踏切近くで危ない行動をとるとどうなるかを通じて、鉄道に潜む危険性や正しい踏切の渡り方などを伝えました。

大人数を前に緊張する人もいましたが、園児たちの反応を見ると緊張がほぐれ劇にも熱が入りました。園児たちはとても楽しそうに笑いながら、そして時には真剣な眼差しで見てくれて、運転士・車掌が登場した際は歓声も上がり、ハイタッチをしながら園児の周りを歩き、劇をしていた私たちも楽しい雰囲気で行うことができました。今回の鉄道版交通安全教室をきっかけに、これまでよりほんの少しでも気を付けて踏切を渡るようになり、鉄道をもっと身近に感じてくれたら嬉しいと感じました。

劇が終わったあとは、園児と一緒に踏切を渡る練習をしました。みんな学んだことをしっかり活かして、踏切を渡る時には「右見て！左見て！もう一度右を見て！」ときちんと確認してから渡ってくれました。

園児からは「踏切の渡り方がよく分かった」「楽しかった」と感想をもらいました。実行委員も大勢の子ども達と触れ合う事で楽しいひと時を過ごすことができ、鉄道で働くものとしての使命感や自分たちの職責の重要性を改めて感じ、とても有意義な活動となりました。今後もこの活動を続けていこうと思いました。



**丑之助学園の皆さん！**  
ありがとうございました！

